サポート情報記事

Single Source と Multiple Sources (タブ): Smart Search の検索モードの選び方

2026 © Vitextra SIA. All rights reserved.

免責事項

本免責事項の適用上、次のとおり定義します。

- **会社** (本免責事項では「当社」と表記します) とは、Vitextra SIA (Matīsa iela 61-25, Rīga, LV-1009, Latvia) を指します。
- **本ドキュメント**とは、ナレッジベースの記事を指します。
- **お客様**とは、本ドキュメントにアクセスする個人、または該当する場合は、その個人が本ドキュメントにアクセスまたは使用する際に代理となっている会社その他の法人を指します。
- **本 Web サイト**とは、https://vitextra.com からアクセスできる Vitextra を指します。

免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、一般的な情報提供のみを目的としています。

当社は、本ドキュメントの内容における誤りや脱漏について、一切責任を負いません。

いかなる場合も、契約上の訴訟、過失、その他の不法行為上の訴訟であるかを問わず、本ドキュメントの内容の使用に起因または関連して生じる、特別損害、直接損害、間接損害、結果的損害、付随的損害、またはその他一切の損害について、当社は責任を負いません。当社は、事前の通知なく、いつでも本ドキュメントの内容に追加、削除、または変更を行う権利を留保します。

誤りおよび脱漏に関する免責事項

本ドキュメントに記載されている情報は、関心のある事項に関する一般的な指針を示すことのみを目的としています。そのため、本ドキュメントの内容を最新かつ正確に保つために当社があらゆる予防措置を講じている場合でも、誤りが生じる可能性があります。また、法律、規則、規制は変化するため、本ドキュメントに記載されている情報に遅れ、脱漏、または不正確な点が含まれる場合があります。

当社は、誤りや脱漏、またはこの情報の使用によって得られた結果について、責任を負いません。

フェアユースに関する免責事項

当社は、著作権者から明示的な許可を得ていない著作物を使用する場合があります。当社は、批評、論評、ニュース報道、教育、学術研究、または調査の目的で、そのような資料を提供しています。

当社は、これが、米国著作権法第 107 条に規定されている、当該著作物の「フェアユース」にあたると考えています。

お客様が、フェアユースの範囲を超えて、ご自身の目的で本ドキュメントの著作物を使用することを希望される場合は、著作権者から許可を得る必要があります。

「自己責任での使用」に関する免責事項

本ドキュメントのすべての情報は、完全性、正確性、適時性、またはこの情報の使用によって得られる結果について何ら保証することなく、また、性能、商品性、特定目的への適合性に関する保証を含むがこれらに限定されない、明示または黙示を問わずいかなる種類の保証もなく、「現状のまま」提供されます。

当社は、本ドキュメントに記載されている情報に依拠して行われた判断や措置、または結果的損害、特別損害、もしくはこれらに類する損害について、たとえそのような損害の可能性について知らされていた場合でも、お客様またはその他の者に対して責任を負いません。

お問い合わせ

本免責事項についてご不明な点がある場合は、メール (support@vitextra.com) でお問い合わせください。

目次

概要 4

モードの選び方 4

組み込みの検索ソース 5

Single Source モードの設定 6

Multiple Sources モードでのタブの設定 7

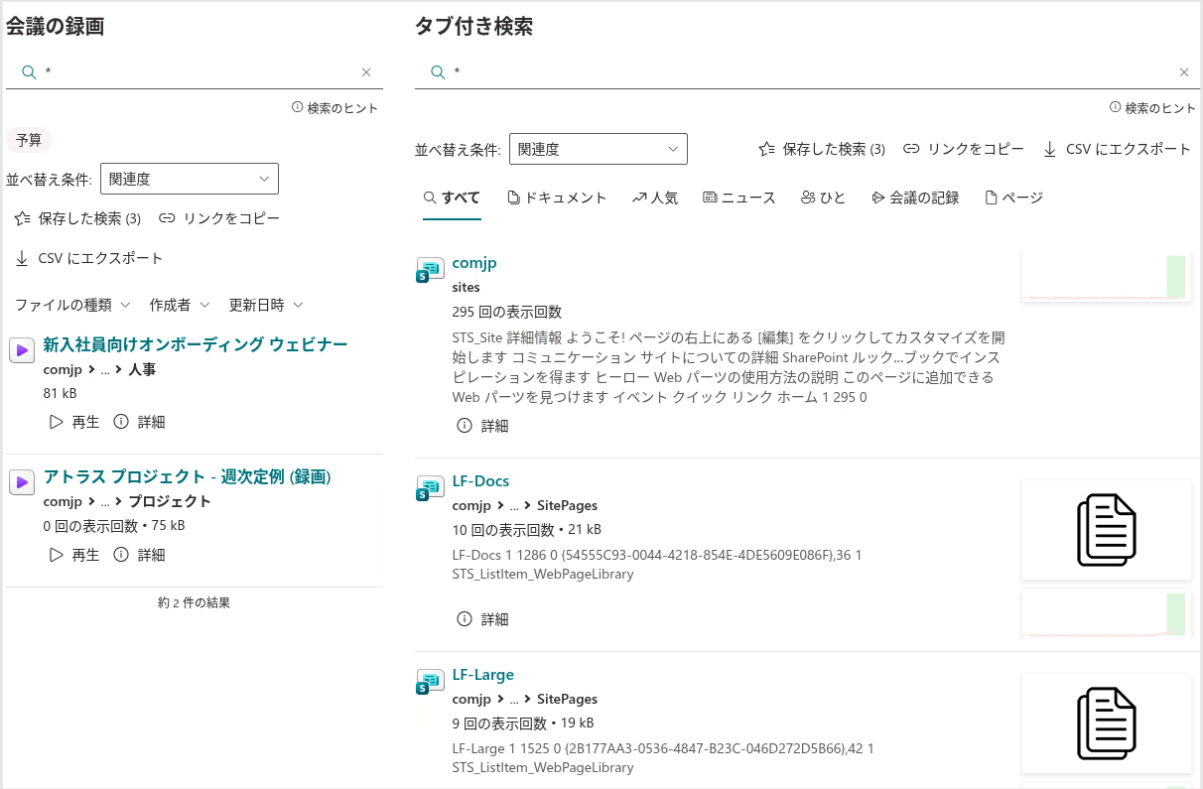
ユーザーから見たタブの動作 8

概要

Vitextra Smart Search Web パーツは、次の 2 つのモードのいずれかで動作します。

- **Single Source** – Web パーツは 1 種類のコンテンツを検索し、タブは表示されません。
- **Multiple Sources (Tabs)** – ユーザーは、結果の上にあるタブで複数の種類のコンテンツを切り替えます。

モードは、Web パーツのプロパティ ウィンドウの **Data Source** (データ ソース) グループで、検索スコープの隣に設定します。この記事では、それぞれのモードを使い分ける場面、組み込みの検索ソースが検索する内容、タブの設定方法について説明します。



1 つのページに配置した Single Source モードと Multiple Sources (Tabs) モード

モードの選び方

	Single Source	Multiple Sources (Tabs)
ユーザーに表示される内容	タブのない 1 つの結果リスト	結果の上に並ぶタブの列

	Single Source	Multiple Sources (Tabs)
構成方法	**Source** ドロップダウンで 1 つのソースを選択	**Select Sources** パネルで、タブの表示/非表示、名前、順序を設定
最適な用途	目的を絞ったブロック: 部門サイトの *最新のドキュメント*、プロジェクト ページの *会議の録画*、ホーム ページの *社内ニュース*	あらゆる種類のコンテンツを探す検索センターや専用の検索ページ

目安として、ページが 1 つの問いに答えるものであれば (*録画はどこにあるか*)、**Single Source** を使用します。人々が *何でも探しに来る* 場所であれば、**Multiple Sources (Tabs)** を使用します。

ヒント

同じページに複数の Smart Search Web パーツを配置し、それぞれに別のモードと別のソースを設定できます。たとえば、プロジェクトのホーム ページに、*ドキュメント* と *会議の録画* を 2 つの独立した Single Source ブロックとして表示できます。

組み込みの検索ソース

Smart Search には 10 種類の組み込みソースがあります。これらは標準の SharePoint 検索結果ソースに基づいているため、SharePoint 検索と同じコンテンツが返され、同じアクセス許可が適用されます。

ソース	検索対象	既定でタブとして表示
Everything	検索スコープ内のすべてのコンテンツ	はい
Documents	ライブラリ内のドキュメント	はい

ソース	検索対象	既定でタブとして表示
Popular	最も閲覧されたアイテム	はい
News	ニュース投稿。多言語ページの場合は、ユーザーの言語のもの	はい
People	従業員のプロファイル	はい
Video	ビデオ ファイル	いいえ
Meeting Recording	OneDrive と SharePoint に保存されている Teams 会議の録画	はい
Pages	サイト ページ	はい
Recently Changed Items	最近変更されたアイテム	いいえ
Pictures	画像	いいえ

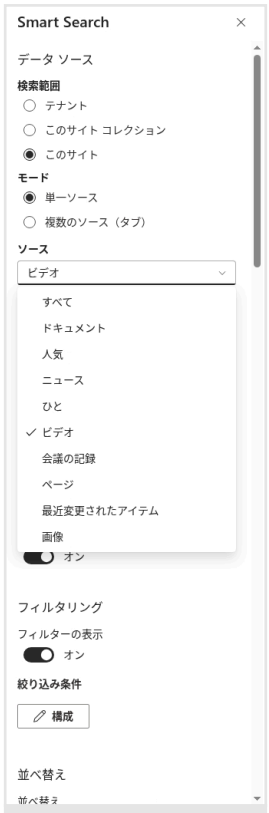
検索スコープ (**Tenant**、**This site collection**、**This site**) は、すべてのソースに適用されます。たとえば **This site** スコープでは、**Documents** タブに現在のサイトのドキュメントのみが表示されます。

メモ

Everything ソースでは、まったく種類の異なるコンテンツが混在するため、絞り込みパネルは表示されません。並べ替えは、独自の順序を持つ **Popular** ソースと **Recently Changed Items** ソースには適用されません。

Single Source モードの設定

1 ページを編集モードで開き、Smart Search Web パーツを選択して、**鉛筆 (Web パーツの編集)** アイコンをクリックします。
2 **Data Source** グループの **Mode** (モード) で **Single Source** を選択します。
3 **Source** ドロップダウンで、検索するソースを選択します。



Single Source モードでのソースの選択

Web パーツは結果をすぐに再読み込みします。タブとして非表示になっているソースを含め、10 種類すべてのソースをドロップダウンから選択できます。

ヒント

Single Source の Web パーツには、わかりやすいタイトルを付けてください。編集モードで結果の上のタイトル領域をクリックし、たとえば *会議の録画* と入力します。タブがない場合、ブロックに何が表示されるかをユーザーに伝えるのはタイトルです。録画検索の設定済みの例については、KB10059. Smart Search で録画済みの Teams 会議を検索するを参照してください。

Multiple Sources モードでのタブの設定

1 **Data Source** グループの **Mode** で **Multiple Sources (Tabs)** を選択します。
2 **Select Sources** をクリックします。ソースごとに 1 行ずつ表示されたパネルが開きます。
3 各ソースについて、次の項目を設定します。

4 **Save** (保存) をクリックして変更を適用するか、**Cancel** (キャンセル) をクリックして変更を破棄します。



Sources パネルでのタブの構成

Source 列にはソースの組み込みの名前が表示され、変更できません。そのため、名前を変更したタブがどのソースに基づいているかをいつでも確認できます。各タブには、それぞれ固有のアイコンが維持されます。

ページを開くと、最初に表示されているタブが選択されます。ユーザーが最もよく使うタブ (通常は **Everything** または **Documents**) を先頭に配置してください。

ユーザーから見たタブの動作

- タブを切り替えると、クエリは維持されたまま新しいソースに対して実行され、結果の最初のページから表示されます。
- ソースによって使用できる絞り込み項目が異なるため、あるタブで選択したフィルターは、別のタブに切り替えるとクリアされます。
- 選択したタブは、ページのアドレスの `source` パラメーターに保存されます。ブラウザーからコピーしたリンクは同じタブで開きます。また、特定のタブを開くリンクを作成することもできます。詳しくは、KB10223. Smart Search で検索アプリ ページを作成する方法を参照してください。

警告

ユーザーが必要としないタブは非表示にしてください。表示されるタブが増えるほど、ユーザーの選択肢も増えます。10　個すべてを並べるよりも、わかりやすい名前を付けた少数のタブのほうが使いやすくなります。

製品の詳細: *https://vitextra.com/ja/products/smart-search*